

【中学生議会 部長答弁様式2】

質問区分	中学生議会	議員名	深澤・関・宮澤議員
発言順(通し番号)	NO:21~23	所管課・室名	政策経営課

質問事項	人口減少について・地域活性化について
------	--------------------

【部長答弁】

関連がありますので、深澤（ふかさわ）議員、関議員、宮澤議員のご質問にお答えします。

人口減少という社会現象は、我が国の重要課題ではありますが、現在の人口構成を基に、将来の出生数等を予想すると、避けられない状況にあります。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う人手不足や、都市圏内の高齢者が急増し、これによる介護職の人手不足等が予想されるため、東京一極集中という現象も簡単には解決できない状況にあります。

このような状況ではありますが、市長答弁のとおり、安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、急激な人口減少とならないように、あらゆる施策を駆使して取り組んでいきます。

特に出生率を高めるための施策に力を入れることにより、中期的な目標とし、1人の女性が生涯に何人の子供を産むかを表す数値を「合計特殊出生率」といいますが、現在本市は、1.44となっており、これを10年後の2025(平成37)年度には、1.60にしたいと考えております。

ただし、厚生労働省の「21世紀成年者縦断調査」によると、21歳から30歳の独身の男女が将来的に子供を希望しない割合が、10年前に比べて男女とも増加し、男性が15.8%・女性が11.6%となっています。

子供を持つか否かという問題は、非常にデリケートな問題であり、その人の価値観にかかわることなので、行政がどこまで関わるができるのか、難しい課題はあると思いますが、全力で取り組んでいきます。

私からは以上です。

【中学生議会 部長答弁様式2】

質問区分	中学生議会	議員名	宮澤昌子議員
発言順(通し番号)	NO:23	所管課・室名	商工労政課

質問事項	商店街の活性化について
------	-------------

【部長答弁】

続いて、宮澤議員のご質問にお答えします。

商店街の活性化は、市長答弁のとおり、地元の方々と商工会や関係する機関で解決策を模索しており、すぐできることや中・長期的に継続して考えていくために、昨年度は豊科まちづくりグループで「豊科商店街再生・創造プラン2015」としてまとめ、商店街利用者へのアンケート調査などを実施し、プランの具現化に取り組んでおります。

また、市では空き店舗を借りて事業をする方へ、家賃に対して補助する制度や、事業を始めた方への補助、事業を進めている中で資金が必要な方への融資など、商工会と連携してその支援を行っております。

空き店舗の支援策の実態は、家賃補助金を平成24年度11件、25年度22件、26年度32件交付しました。制度の周知により、利用者は増加傾向にあり、空き店舗の解消に効果が表れております。

商店街の活性化対策は、郊外型の大型店舗などとの住み分け、若者からお年寄りまでライフスタイルに合わせた店舗経営や、今後増加していく買物弱者と呼ばれる方への対応など個店の魅力づくりが重要であり、行政としても、大きな課題であると認識しています。これらの解決に向けては、安曇野市の若年女性の減少率が幾分高いのが懸念されており、若者にとって魅力ある地域づくりは、市の永続的な活性化に最も重要な課題の一つであり、今後の大きな取り組みとして、行政、事業者、市民を含め「オール安曇野市」での取り組みが求められており、多様な取り組みを行ってまいります。

【中学生議会 部長答弁様式2】

質問区分	中学生議会	議員名	佐々木 優衣 議員
発言順(通し番号)	NO:24	所管課・室名	長寿社会課

質問事項	(提言) ・高齢者のために周辺住民が協力し雪かきを行う。 ・高齢者の交通手段としての「あづみん」の台数と運行を増やす
------	--

【部長答弁】

続いて、佐々木議員のご質問にお答えいたします。

急速な少子高齢化の進展、地域連携の希薄化等の理由により、雪かきについては、かつての行政、地域、各家庭のそれぞれの取組みといった枠組みが機能しなくなってきたと全国的に言われてきております。

これからは、地域住民組織、ボランティア団体等の雪かき支援の環境整備が必要であるとも言われております。

平成26年2月の大雪は、高齢者にとって大変な負担だったと思います。行政としても、雪かき対策について仕組みを見直すきっかけとなった出来事でした。

ボランティア活動によって高齢者と若者が交流でき、相互に良い影響を与えたという事例は、地震や水害に見舞われた被災地などからメディア等を通じて紹介されております。

社会福祉協議会と連携をしながらボランティア会員の増員につながるよう制度の充実を図っていきたいと考えております。

なお、「あづみん」については、先ほど市長から答弁させていただいたとおりです。

【中学生議会 部長答弁様式2】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	石塚紅葉 議員
発言順(通し番号)	NO:25	所 管 課 ・ 室 名	地域づくり課

質 問 事 項	詐欺被害対策について
---------	------------

【部長答弁】

続いて、石塚議員のご質問にお答えします。

議員のご質問のとおり、子どもや孫になりすましてお金をだましとる「オレオレ詐欺」や、払いすぎた医療費をお返しするといった「還付金詐欺」など、“特殊詐欺”と呼ばれる詐欺の被害が急増しており、被害者の多くは60歳以上の高齢者に集中しています。

こういった高齢者は、核家族化の進行により自宅にひとりであることが多くなり、優しい言葉で勧誘されると熱心に聞いてしまい、つい信じてしまい自分がだまされていることに気付かなかつたり、被害にあったことを恥ずかしく思い、誰にも相談できずに一人で悩んだり泣き寝入りをするケースもあります。

こうしたことから、市では高齢者に身近な民生児童委員の皆さんや、ホームヘルパー、ケアマネジャーの方々などへの出前講座を実施したり、広報紙などを通じて、消費者トラブルに関する情報提供などを積極的に行っております。

このような被害を防止するため、議員ご提案のとおり、高齢者宅に対する家庭訪問を行っており、市民の意識向上を図るための啓発活動を実施しております。また、家族どうしで「声を掛け合い」・「話を聞いて」・「気にして見守る」ことも大切だと思います。皆さんも「何か変だ？」と気づいたら、ご家族と話しをしてみたり、ご近所で困っている高齢者に一声お声掛けをしてみたらどうでしょうか。

「見守り」と「気づき」で高齢者から詐欺被害を一件でも減らし、皆さんが安全で安心に暮らせる“安曇野市”を目指しましょう。